

消された白線の上に描かれる新たな「青島」

下関市総合政策部国際課
主任主事 和木田 真功

開催せまる「上海協力機構首脳会議 in 青島」

中国にとって2018年の重要な10大イベントの一つとされる上海協力機構首脳会議が6月に青島にて行われます。中国・ロシア・カザフスタン・キルギス・タジキスタン・ウズベキスタン・インド・パキスタンの8か国により組織される多国間協力組織の首脳会議を目前に、現在青島では開催に向け準備が行われています。青島市政府の担当部署には「開催まで残り〇〇日！」という特設看板が設置されており、成功に向けた意識の高まりも感じました。今回は3月に青島を訪問した際の様子を中心にお伝えします。

市内全域で行われる大規模な道路工事

3月に訪問した際には、市内全域で大規模な道路工事が行われていました。既存の道路は全て掘り起こされ、停止線や車線なども消され、道路上の白線がほとんど見えない状態でした。運転に支障をきたさないか不安を覚えますが、6月の会議に向け、市内全域で道路を整備し直すあたりからも、青島ひいては中国にとってこの会議の成功がどれだけ重要かがえます。

昇龍の勢いそのままに進化する夜景

整備されるのは道路だけではありません。青島市の中心地である五四広場周辺では、高層ビルにプロジェクションマッピングを用いて龍が舞うなど、夜景の整備も進められています。煌々と輝く夜景が、発展を続ける青島を象徴しているように思え、高層ビルに映し出された龍の如く現在の青島の「勢い」を感じました。今回訪問時には実際に見ることはできませんでしたが、青島市を訪問することがあれば、夜景をぜひご覧下さい。

消された白線の上に描かれる新たな「青島」

5月に入り、道路工事や夜景の整備などもひと段落しました。現地の友人から送られた写真からは、私が駐在していた2017年とは見違えるほどきれいになった道路や夜景がうかがえ、一度消された白線の上に描かれる新たな青島の可能性に胸が高まります。今回の会議会場となる予定のオリンピック基地には新たに国際会議センターが建設されました。当センターは海を漂うヨットがモチーフとされており、中国が提唱する「一带一路」構想に、青島という一隻のヨットが今後どのような存在感を示していくか注目です！



▲道路工事の様子



▲工事後の様子